

＜見守り・捜索活動において役に立つと思われる情報の例＞

ご本人の特徴や行方不明となられた時の様子などの情報を、見守りや捜索活動に参加する方たちが共有することにより、速やかな発見や未然防止につながる可能性があります。どのような情報が役に立つかを知り、万一の場合に備えておくことをお勧めします。

1. 本人の身体的特徴や外見に関する情報

- 写真（顔、前身、側面、上半身、全身）
- 身長、体重、体型
- 髪型、頭髪の色、ひげの有無
- メガネの有無
- 顔の特徴（ほくろ、外傷など）
- 歩行時の姿勢、歩き方
- 服装・衣服（色、形など格好の特徴）
- 杖の所持、普段持ち歩くもの
- 自転車／徒歩／車の使用の有無

2. 捜索活動に有効と考えられる情報

- 行方不明となった日時、場所
- 徘徊歴
- 最後に本人を確認した場所
- 過去に保護された場所
- よく行く場所、立ち寄りそうな場所（病院、買い物する店等）
- 日頃よく利用する交通機関
- 昔住んでいた所、実家の場所
- 本人が以前行きたがっていた場所
- 旧住所など聞かれると答える地名
- 本人がいなくなる前に何か言っていなかったか。気になる行動はなかったか。
- 本人のいなくなるまでの行動

3. 発見時の本人確認などに役立つ情報

- 発見時の連絡先、発見の際の連絡方法
- 保護時に気をつけてほしいこと（水分補給の依頼など）
- 主病名、既往歴
- 愛称、呼び名、旧姓
- 本人の普段の特徴的なしぐさ
- よく言う言葉など、会話の特徴
- 元の職業